

長命館跡(長命館公園)

サクラの広場が美しい歴史公園

長命館跡は、中世以降、この地の領主であった長命氏が高さ90mほどの丘陵の地形を巧みに利用して築いたとされる館の跡で、現在は歴史公園として整備されています。早春に咲くカタクリの群生や梅園のウメも見ごたえがありますが、特に多くの人を訪れるのはサクラの季節です。広場が満開のサクラに包ま

れる美しい光景が広がります。丘の上に建つ物見台からは、泉区の街並みをはじめ、遠くは七ツ森の山々など見ることができます。園内は散策路が整備されているので、季節ごとに訪れ、のんびりと歩きながら植物の変化を楽しみたい場所です。

長命館さくらまつりを開かんと
手入れを欠かさぬまちの人らは 多田美慧子



▲南入口



▲梅園のウメ(撮影:河本悟)



▲広場でお花見



▲サクラに囲まれた「物見台」

ひとことメモ

井戸跡などの遺跡が残されており、掲示板などでかつての様子を知ることができます。駐車場は少ないので、公共交通機関がおすすめです。

泉区マップE



アクセスガイド

仙台駅西口バスプール2番のりばより宮城交通バス「泉中央駅行」に乗車、「加茂四丁目」下車。徒歩5分

●所在地：泉区加茂二丁目